

ブックス
BOOKS

7月

町図書館 ☎ 33-0215

休館日 / 7月5日(月)・12日(月)・19日(月)・26日(月)

おすすめの本

「黒牢城」

米澤 穂信／著 KADOKAWA

信長に叛旗を翻して有岡城に立て籠った荒木村重は、城内で起きる難事件に翻弄される。動揺する人心を落ち着かせるため、村重は、囚人にして織田方の軍師・黒田官兵衛に謎を解くよう求めたが―事件の裏には何が潜むのか。デビュー20周年の到達点。

「アンソニーシャルティスタンス」

金原ひとみ／著 新潮社

コロナ禍の世界を逃れ心中の旅に出る若い男女を描く表題作を始め、ウィルスを恐れるあまり孤独を深め暴走する「テクノブレイク」など、生きる苦しみに彩られた作品全5編を収録。

「神さまのいうとおり」

谷 瑞恵／著 幻冬舎

会社を辞めて主夫になった父親。そんな父親が恥ずかしい思春期の娘。何も相談してくれない夫との関係に悩む母親。一家は曾祖母の住む田舎に引っ越すことになり…。

「10年かかって地味ごはん。」

和田 明日香／著 主婦の友社

料理がでなかったからこそ伝えられるコツがある。結婚を機に料理を始め10年。姑・平野レミも太鼓判を押す、和田家で毎日作っている定番料理や、おつまみになるおかず、野菜料理を紹介。

「命に価格をつけられるのか」

分田ミチ子／著 慶應義塾大学出版会

自分の命には「価格」がつけられている―経済学者、統計の専門家、規制当局が駆使する「統計的生命価値」をわかりやすく解説し、「人の命」とは何かという事を問う。

「非正規介護職員ヨボヨボ日記」

真山 剛／著 三五館シンシヤ

介護の世界は想像をはるかに超えた汚く危険で、きつい世界だった。それなのに私は今も介護ヘルパーを続けている。介護現場の末端で見つけた「古い」死のドキュメント。

「すいかのたね」

グレッグ・ピソーリ／作 こぐま社

朝、昼、晩ごはんにすいか、もちろんデザートにも―すいかが大、大、大好きなワニが、うっかり種をのみこん

で!?小さい子どもが一度は想像しそうな事を、ユーモアたっぷりに描く。

「女の子だから、男の子だからをなくす本」

ユンウンジュ／文 エトセトラブックス

女の子も男の子も、ステキな人になるために。性別の枠組みから自由になり、これから必要なジェンダーの知識を紹介した絵本。

「教科で学ぶSDGs学」

稲葉 茂勝／著 今人舎

SDGs(持続可能な開発目標)のさまざまなポイントを、国語・算数・理科・社会などの教科ごとに紹介する。SDGsのターゲット(目標17)の子どもの挑戦、復習テストなども収録。

「いざというとき使えるために備えるものトリセツ図鑑 3 災害対策」

教育画劇

「いざというとき」の適切な備えを、写真やイラストで紹介。3は、ハザードマップから、非常持出袋、災害避難時の注意まで、災害という危険から命を守る備えを説明。

★行事(図書館)

●マイ双眼鏡をつくろう!

日時: 7月17日(土) 14時30分

場所: 図書館1階

指導: 児童館職員

参加費: 無料

●開館時間の延長

図書館の開館時間を延長します。

期間 8月22日(日)まで

時間 9時~19時

今月の料理

食生活改善推進協議会



<副菜> ごぼうとにんじんのサクサク揚げ

ごぼうとにんじんはピーラーでささがくことで、早くさっくり揚げられます。食べる小魚を入れることによってさらにサクサク感が増します。

作り方

- ① ごぼう、にんじんはピーラーでささがく。
- ② ボウルにごぼう、にんじん、食べる小魚、薄力粉を入れて混ぜる。
- ③ ②にAを入れてさっくり混ぜ合わせる。
- ④ 油で色づくまで両面揚げる。

材料(4人分)

ごぼう	100g	薄力粉	大さじ2
にんじん	150g	A 片栗粉	大さじ2
食べる小魚	20g	水	適宜
薄力粉	大さじ2	揚げ油	適宜

●1人分栄養量

エネルギー	たんぱく質	脂質	カルシウム	食塩相当量
113kcal	4.6g	3.0g	134mg	0.3g

